

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向に転じていること、春先には新型コロナウイルス感染症の分類が5類に変更される見通しであること等から、来客数、売上共に増加方向に動くと思われる。
	◎	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス感染症も落ち着いてきたので、景気は良くなっていく。
	◎	その他飲食 [ファーストフード]（経営者）	・5月8日以降は、新型コロナウイルス感染症に対する制限緩和が大幅に進む。人の流れがかなり多くなってくると思うし、イベントや外食に出向いたり、現在でも増えている外国人旅行者等が、より顕著に増えてくると思われる。
	○	商店街（代表者）	・物価や光熱費の高騰がいつまで続くのか不透明で、生活も厳しくなっている。今後、新型コロナウイルス感染症の位置付けも5類に引き下げられ、医療費の不安は募るが、マスクの使用や街のイベント事業も緩和され、にぎわいが取り戻せるのではないかと期待している。
	○	スーパー（商品部担当）	・外的要因が続く要素があるため、やや良くなると回答したが、一時的な要素のため、長く続くことはない。来客数や客単価が上昇傾向となるまでには至らない。
	○	コンビニ（経営者）	・暖かくなるにつれて客足が伸びるため、やや良くなる。
	○	衣料品専門店（販売担当）	・飽くまでも希望的観測だが、1月後半の流れが社会的な現象として、客に多少なりとも光明が見えてきたという雰囲気になってきたとしたら、人の流れは多少良くなると期待している。
	○	家電量販店（店員）	・新型コロナウイルス感染症の位置付けが、5類に引き下げられるため、市場の活性化につながる。
	○	乗用車販売店（従業員）	・納車遅延が解消されてきており、受注も増えている。受注残も堅調に確保できている。
	○	乗用車販売店（販売担当）	・いろいろな新型コロナウイルス感染症に関連する制約が解除になっていくので、人の往来もますます良くなる。3か月後は多分、景気が良くなる。
	○	一般レストラン（経営者）	・3～4月頃は動きやすい時期でもあるので、少しずつ良くなるのではないかと。物価もそれなりに落ち着くと思うし、賃上げがあれば徐々に良くなる。宴会が増えることを期待する。
	○	一般レストラン [居酒屋]（経営者）	・歓送迎会の時期に入ってくるので、団体宴会や2次会利用等に期待したい。
	○	都市型ホテル（支配人）	・料飲部門では、3月以降の歓送迎会や総会等の予約が、前年比200%ほどの受注がある。
	○	都市型ホテル（支配人）	・受験や人事異動に伴いホテルが動く時期なので、期待したい。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・全国旅行支援の期間延長を受けて、今年度の宿泊売上は予算達成の見込みである。コロナ禍前の2018年度と比べても118%と好調である。料飲部門は人員不足で休業日を設定するようになったものの、2018年度比93%、前年比140%と、個人消費が回復傾向にあると感じられる。宴会売上は唯一回復が遅れているが、新型コロナウイルス感染症の分類が5類に変わり、状況が好転することを願いたい。
	○	旅行代理店（所長）	・相変わらず、医療緊急事態の当県だが、新型コロナウイルスの新規感染者数は落ち着いてきている。ゴールデンウィーク明けの新型コロナウイルス感染症の分類の5類への変更に向け、日常の行動制約が緩和されることの効果に期待したい。
	○	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス感染症の分類が5類になれば、より一層、活発に人が動く。
○	タクシー（経営者）	・夜の動きが良くなってきたので、この先も良くなる。	
○	通信会社（総務担当）	・進入学や転勤での需要が増えるので、今よりは販売は伸びるが、4月中旬までには通常に戻ると予測される。	
○	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルス感染症の分類が5類へと引き下げられることにより、経済の動きは活発になる。	
○	住宅販売会社（経営者）	・日本銀行の金融政策に動きがあれば、住宅ローンの長期金利に変動がありそうなので、少し動きが良くなる可能性が出てきている。	

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・首相が「5月頃、マスクをしなくてもよいような状態になる」というような話をしているが、まだ新型コロナウイルスの新規感染者数が増えている状態である。出掛ける人も皆、気を付けているので、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔土産〕（経営者）	・全国旅行支援が3月まで延長となったが、支援額が少なくなったためか、客に秋のような購買意欲がない。寒い地域のため、元々、国内観光客は少ない時期で、カバーするように外国人観光客が来ていたが、今はそれも見込めない状況である。ただし、外国人観光客も少しずつ増えてきて、希望が持てる状況だが、国内客は消費に消極的なので、楽観できない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数も減少傾向にあり、全国旅行支援や、年度末のオケージョン需要に期待したいところではある。ただし、エネルギー価格の高騰や食料品等の物価高による生活防衛意識は依然として高く、春先に向けても状況は大幅には変わらない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（店長）	・新型コロナウイルス感染症発生前の日常生活が戻りつつあり、食料品や日用品は回復基調にある。ただし、旅行やぜいたく品の購入等は完全には戻りきらず、景気上昇への期待が薄い。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（統括）	・今の状況からすると、まだまだ先は見えない。良くなる見通しはつかない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（営業担当）	・いまだに半導体関連の入荷が悪く、安定的な売上確保は大変である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーでは、特に、海外サプライヤーからの部品調達に、今一つ不安定な要素があるためか、本来の生産台数に未達である。現状の納期見込みは2～3か月位である。
<input type="checkbox"/>	自動車備品販売店（経営者）	・ムード的には余り良くない。皆、疲弊した感じがしている。増税や政府のいじり方次第で、すぐ萎えてしまうようなムードである。Go To Travelキャンペーンとか、一部の人だけが分かるシステムも困る。とにかく、高速道路料金を半分にするとか、割引するとか、少しでも動きが出るような、誰にでも分かりやすいシステムにしてほしい。そして、皆が少し動ける状況を作ってほしい。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（仕入担当）	・短期間で現状から変わる理由が見当たらない。春に向け行楽やレジャーへの意識が高まれば、その分、生活品への節約意識は高まっていく。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・毎月の状況がみえない。店によって上下があり全体的には前年並みに推移していくのではないか。今一番の課題は商材確保で、重要な問題になってきている。そのためには、商材手配の情報を入手していかなければならない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・人流が増える反面、食品その他の相次ぐ値上げが止まらず、価格安定後に客を引き戻すには時間が掛かるとみている。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・新型コロナウイルス感染症の分類が5類になっても変わらない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（経営者）	・年度末に向けて多少の動きがあっても、通常どおりに戻るほどの期待は、一切持てない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（社員）	・前年来の電気、ガス料金等の上昇を始め、生活にかかる固定費上昇を身近に感じている。個々では良しあしはあるものの、全体的には変わらない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・今以上に悪くなることもないが、今後、ますます既製品の値上げが待っているの、良くなるとは考えにくい。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク（職員）	・全国旅行支援が再開され、訪日外国人団体客も少しずつ来園し始めている。ただし、個人客の動きが鈍く、増加するとは思えない。
<input type="checkbox"/>	競輪場（職員）	・新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行、物価高の影響等で、先行きの不透明感が根強く、現時点では今後の景気予測は見通しにくい。
<input type="checkbox"/>	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・円安に歯止めが掛からない現状が続くため、変わらない。
<input type="checkbox"/>	その他サービス〔自動車整備業〕（従業員）	・景気が良くなっていく感じがしない。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（経営者）	・現状、本当に不動産の動きがなく、低迷しているような感じがする。

	□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・何らかの補助金や助成金の受給を検討している客もおり、年度明けまではしばらく我慢が続くのではないかと。
	▲	百貨店（営業担当）	・現在の客の消費動向が変わるほどの大きな変化は期待できない。しばらくは厳しい状況が続くことが予想される。
	▲	スーパー（総務担当）	・景気回復に向けたベースアップの話も報道されるが、実際の店頭での感覚は、売上が伸び悩んでおり、厳しいと考えざるを得ない。その上、各種値上げが続けば、より景気は悪化するのではないかと。
	▲	コンビニ（経営者）	・売上を見ると前年割れだが、人の動きはあるので、少しの期待感はある。しかし、経営的にはかなり厳しい。経費の増大、特に、電気代の高騰が利益を圧迫している。手を打ってはいるものの、これ以上抑えることは大変難しい。その他の用品も値上がりしており、このままでは利益の出せない状態が続き、夏に向けて赤字の心配すら出てきている。
	▲	コンビニ（店長）	・当地のプレミアム付商品券の使用が1月で終了するため、影響はマイナスの方向にある。
	▲	住関連専門店（店長）	・現状、値上げが継続するなかで、買い控えが進んでいる。
	▲	一般レストラン（経営者）	・値上がりしが止まらないため、外食産業の痛手は大きい。
	▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・為替相場が戻り足となるなど、一時期の状況とは少し変わってきているが、コストアップは当面続く想定される。加えて、人手不足が重しとして加わっている。一方で、異業種からの参入もあるので、入札条件も厳しい状況が続いていく。
	▲	旅行代理店（経営者）	・全国旅行支援が終了するため、やや悪くなる。
	▲	通信会社（局長）	・生活費が増加している以上、節約できるところは通信費となるため、やや悪くなる。
	▲	ゴルフ場（従業員）	・コストが増加しており、今後もやや悪くなる。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・国の方針が余りにも、国民の生活とかけ離れているところが問題だと思う。いい加減に辞めてほしい。
	×	都市型ホテル（経営者）	・政府の新型コロナウイルス感染症対策がひど過ぎて、経済が停滞している。
	×	通信会社（経営者）	・円安もピークは越えたとはいえ、いまだ仕入コストは高止まり状態で、消費者の買い控えから末端の価格競争は続いているのが現状である。末端の企業は賃上げどころではなく、少しでも利益を上げるのに必死である。経常赤字国になっても利上げのできない状況は、国債を乱発している以上、今後も続けざるを得ない。せめて増税をする前に議員数を減らすべきではないのか。
	×	美容室（経営者）	・消費税増税による値上げを除き、実質35年ぶりに施術料金を10%値上げした。ただし、仕入商材費、光熱費の急激な上昇は、値上げした10%では追いつかない。この上、消費税まで上げられたら、我々商人の担税力は地に落ちる。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	金属製品製造業（経営者）	・受注の増加により、やや良くなる。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・ロボット関連の増産対応で忙しくなる見込みである。また、自動車関連も取引先からの内示を上回る計画になると予想している。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・年度末を過ぎて4月にならなければ、先のことは分からない。ただし、当社の取引会社や親会社は、どこもかなり強気の生産計画を出していくような感じである。全般的に景気は上がっていくのではないかと。
	○	輸送用機械器具製造業（経営者）	・4～5月頃からは取引先の受注量等も増えそうな予定だが、2～3か月先のことは分からない。
	○	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・世界的な受注は確保されているので、半導体不足が解消されれば高稼働になる。人材確保が課題である。
	○	経営コンサルタント	・コロナ禍の自粛的な行動が、徐々に薄れてきた傾向が見られるため、一般の消費活動や生産活動が上向くと考えられる。
	○	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・受注状況からみても、収益の増加が見込まれる。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・年度末に向かって、工事発注は見込めない。

	□	金属製品製造業（経営者）	・材料やその他いろいろと経費が掛かっているので、今、親会社と単価を交渉中である。親会社の方でも、製品の販売会社に単価を上げてくれるよう交渉中で、返事を待っている。単価が上がれば採算が取れるようになる。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・当社取引先全てで半導体関連部品の不足による減産や生産調整の改善が見られない上に、明るい兆しを全く感じられないことが残念である。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・まだしばらくは、新型コロナウイルス感染症の影響が残ると考える。
	□	輸送業（営業担当）	・新生活用品、白物家電、生活雑貨、寝具等や引っ越し依頼等は、前年並みの仕事量を確保予定である。
	□	不動産業（管理担当）	・賃貸物件の空き状況は変わりなく、定期的に入居の下見はあるものの、決まらない。メンテナンス部門は、光熱費高騰のために取引先も定期契約を減額したい意向が強く、売上の現状維持がやっとなところである。
	□	司法書士	・当地は金属加工とプラスチック加工の下請業者が圧倒的に多い街で、自分の仲間もそこで社長業をしている。彼らに話を聞くと、良くなる要素もないが、悪くなる要素もないというのが一般的な傾向である。我々の業種も彼らの延長上にあるので、同じような状況だと考えている。
	□	社会保険労務士	・中小企業は利益が上がっているわけでもなく内部留保もないので、賃金はそれほど上がらない。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・主力製品の受注量が、1～3月の間は落ち込む予定のため、やや悪くなる。
	▲	建設業（総務担当）	・発注予定を見ても年度末なのに発注量が少なく、先行きは大変不安である。
	×	建設業（開発担当）	・現与党政権の下、公共工事は順調に推移しており、大変有り難い。ただし、今期の公共工事発注は前年比7%減、前々年比20%減と厳しく、当社受注も前期比10%減で、厳しい決算になるかと案じている。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	—	—
	□	人材派遣会社（社員）	・企業からの派遣依頼は増加傾向だが、求職者数が圧倒的に不足している。物価高騰のため、派遣料金の値上げを交渉しているが、企業間で温度差があり、しばらくはこの状況が続くと考えられる。
	□	人材派遣会社（従業員）	・人材派遣業だが、求職者が少ない。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人は、持ち直しの動きが広がりつつあるものの、新型コロナウイルスの感染状況や物価上昇による影響等の懸念材料によって、先行きは不透明である。
	□	学校〔専門学校〕（副校長）	・採用状況をみると、業種によって良しあしが分かれているため、今後の見込みは不透明である。
	▲	人材派遣会社（経営者）	・年度末に差し掛かるので、動きは全体的に上がってくると思う。ただし、公共料金等の値上げや物価も上がる物が多くあるため、高額な自動車関連やパソコンは多分、横ばいかと思われる。公共事業に関する工事は増えると思うが、製造業関連は全般的にはそれほど動かずに、逆に悪くなるのではないかと。
	▲	人材派遣会社（社員）	・こここのところ続いている物価高騰等で、当社の客からも、先行きどうなっていくのか心配だという話を聞いている。今のところ、旅行や観光関係では割引や助成があったりするので、まだ動いてはいる。ただし、このまま物価高が進行して、一般家庭でも肌身で感じるような状態になると、数か月先にはやはり更に悪くなるのではないかと。
	▲	人材派遣会社（管理担当）	・生産調整の先行きが不透明な上に、新規の派遣取引営業数が少ないため、やや悪くなる。
	▲	職業安定所（職員）	・今までの新型コロナウイルスオミクロン株の別系統よりも強力な株が、米国や中国から入ってくるのが確実で、再び景気は悪くなる。
	×	*	*